

CHIBA-HIGASHI ROTARY CLUB

Weekly Report



地区テーマ

原点回帰を目指して

国際ロータリー会長 ゲイリー・C.K.ホアン
2790 地区ガバナー 宇佐見 透
第3分区分 Aガバナー補佐 森島 弘道

千葉東ロータリークラブ 第1028回例会 2014.8.4

会長 辻 修
幹事 吉田 朋令

四つのテスト唱和

言行はこれに照らしてから



洪 春花 会員

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

本日のお客様

交換留学生（7月21日帰国） 坂本 大樹 君

会長挨拶

辻修 会長



みなさん、こんばんは

一昨日、2日(土)は千葉西ロータリークラブの家族例会に吉田幹事、加藤PP、吉田PP、鳴海会員と5名で参加してきました。また昨日はアパホテルにて開催されました地区ロータリー財団セミナーに吉田財団委員長、鳴海クラブ研修委員長と出席してきました。

ロータリークラブは、世界200以上の国と地域に、120万人以上の会員がいます。世界200以上の国と地域とのことで世界の国の数を調べてみました。

世界の国は、外務省の資料では195か国です。日

本政府が承認している国、つまり日本と国交がある国が194か国と日本です。日本の地理の教科書では日本政府が承認していない北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）を含め196か国になっています。一方、国連加盟193か国です。日本と国交のある国で、国連非加盟国がバチカン、コソボ、クック諸島の3か国あります。永世中立国のスイスは2002年に国連に加盟しています。

私は59か国へ渡航しました。ほぼ年齢の国数です。今後も毎年1か国程度増やしていければと思います。

本日はロータリークラブの交換留学生としてアメリカ、ヒューストンへ約1年間の留学を終え、先日帰国された坂本君の卓話を楽しみにしています。

幹事報告

吉田 朋令 幹事



◆ 第1回合同幹事会報告（7月18日（金））

1. 櫻木GEより次年度地区幹事を3分区分Aの各クラブより1名ずつ輩出してほしいとのこと。後日、正式文書を送付いたします。
2. 宇佐見ガバナーより行事日程が例年と変わっておりますが、ご協力のほどお願いします。

委員会報告

親睦活動委員会 田中 仁一 委員長

8月9日は納涼家族例会です。18:00より「シェルハウス」です。今年はオークションはやらず、抽選会とします。メンバーの方は賞品をおひとり一品ご持参ください。ただし、アルコール類はご遠慮ください。現在参加者はゲストを含め37名+お子

さん4名です。服装はラフな格好でお願いします。



今月のお祝い

8月誕生日祝



社会長・小川会員

8月結婚記念日祝



飯田会員

ゲスト卓話

『留学を終了して』

2013-2014年度長期交換留学生 テキサス州派遣
坂本 大樹 君



2013年度、2014度に Willowbrook ロータリークラブにホストクラブをしていただき、アメリカのテキサス州に派遣していただきました坂本大樹です。7月21日に無事帰国をいたしました。留学を終了してこの1年間の素晴らしい経験を報告させていただきたいと思います。

8月16日テキサス州に到着し、初めのホストファミリー、その友人や国際ロータリークラブのカウンセラーの方をはじめ、1年を通して留学を支援して下さった多くの方々に暖かい御出迎えをしていただき、今まで17年間生きてきた環境とは全く違う世界で長期間学ぶ中でさまざまなことに挑戦し、努力しようという決意、また1年間を通して自分の目の前にあらわれるいくつもの大きな壁、いくつもの困難を想像し、期待と緊張を同時に感じたのを今でも覚えています。

「学校生活」

8月後半には Klein Oak High School の新年度がはじまりました。アメリカでは日本で言う2期生が採用されていますが1学期 (1st Semester)には English4(英語4)、Journalims(ジャーナリズム)、Calculus(数学)、Spanish1(スペイン語1)、Economy(経済学)、Retail-Etail(マーケティング)、Biology PreAP(生物学) を選択しました。自身の語学力や能力を伸ばしたいという決意からスポーツクラスやアート、音楽をあえて選択から落とし会話やディスカッション、リスニングなどの多いクラスをあえて希望したので初めは毎日の宿題、小テストの異常な多さに圧倒されましたが、毎日の授業に集中する中、慣れる頃にはもう既に1学期の半分は終了していました。Klein Oak High School には4000人近くの学生が所属していますので、多くの友人は同じクラスでのグループプロジェクト、共同テスト等を通して作りしました。

アメリカではスポーツのスケールもとても大きく、州大会からはじまり全米試合もそれぞれのスポーツで季節ごとに毎年行われます。12月には学校ではサッカークラブの選抜が3日間かけて行われました。100人以上の学生が選抜に挑戦し、学校代表が20名、準代表チームが20名選抜されました。10年間の経験と、留学前半で培った自信を発揮した結果、学校代表チームに選抜していただくことができ、背番号8番をいただくことができました。シーズンを通し、数多くの遠征を通して多くの他校に訪れる経験や、

大会の経験、地域の家庭的に苦しい状況にある子供達を支援するために小学校にチームとしてのボランティア活動を行ったり、なによりも同じ目標を持った友人達を得ることができました。コーチには No Reserve、No Retreat、No Regret の大切さを教えていただき、フィールド内だけでなく学校生活や家族、友人と接すること等、これから生きて行く上で軸になっていく大切なことを教えていただきました。

キリスト教の多いアメリカ南部ならではの大変いそがしい、にぎやかなクリスマス休日を終えた後、新学期が開始しました。2学期には English 4、Journalims、Calculus、GovernmentAP、Biology PreAP、Speech、Sociology を選択しました。AP クラスは大学の単位を大学に入学前に取得する生徒のためのクラスなので、非常に難関でしたが、担当の先生の支援もあり、様々なことを学ぶことができました。

3月、4月にかけては学校にも非常に慣れ、ジャーナリズムのクラスやスピーチクラスでも班ごとに行うプロジェクトやスピーチなど班の一員として積極的に参加できるようになってきたのを感じました。「アメリカでの生活」

今回、3つのホストファミリーに滞在しましたが、大変恵まれ、3家庭とも同い年のホストブラザー、ホストシスターがいる環境で留学生活を送ることができ、友人のつながり、またアメリカの同年大の学生がどのような生活を送っているのか、興味は何か、将来の夢はなにか、どのような意見や考え方をもっているのかを自分の目を通してみることができました。

また学校外ではテキサス州が最も有名なロデオ、NASA 見学もし日本では見ることのできない数多くの文化を学び、アメリカで最も大きなスポーツ、アメリカンフットボールを家族で観戦したり、非常に深くテキサスの文化をみさせていただきました。

今回、この留学が本当に自分を成長させる要素となった1つは、ホストファミリーが3家庭あったということです。これはロータリークラブ特有のシステムですが、3家庭とも全く違う生活スタイル、食生活、宗教、家族の考え方、友人達、親戚のつながりを持っていて、もちろん自分の生まれ育った環境とは全く異なります。が、1家庭1家庭、自分が家族の一員として貢献できることはなにか、どうしたらホストファミリー（言い方を変えれば全く知らない人々）と常に共同生活を送れるかを毎日毎時間考え、意識しながら行動する必要があります。この経験は将来どのような環境、仕事、職場などにたずさわる時にでも応用されていくと確信しています。

「ボランティア活動」

自分の普段みることのできない世界の局面を知り見詰め直し、また困難のなか生きている人々を支援したいという意志からボランティア活動にも積極的に取り組みたいと感じ、アメリカ全土のほぼ全て

の高校に存在するロータリーが支援する Interact Club(インターアクトクラブ)にまず登録をしました。アフリカの学生達にテキストや本を送るために古本を集めることから始まり、ロータリークラブの世界ポリオ廃止活動を支援するために募金活動を行ったりしました。学校外でも福祉活動を積極的に支援したいと思い、近くの教会が行ったホームレスを支援する活動、また Thanks Giving の祝日のために食材を得ることが困難な家庭に食料の支給、クリスマスプレゼントを購入できない家庭にプレゼントの配分と支給、クリスマス祝日のために食材支給などを支援しました。

「ロータリークラブの学生として国際交流を通して」さて、テキサスに初めて足を踏み入れた約1年前にもどりますが、8月23日から3日間かけて泊まりで行われたロータリークラブのオリエンテーションではベルギー、ブラジル、デンマーク、エクアドル、フランス、ドイツ、イタリア、ボリビア、オランダ、台湾、タイ、スウェーデン、パラグアイ、日本、ポーランド、スペイン、メキシコから19名の留学生、10名の過去長期留学経験のある先輩方(Rotex という組織でこれは世界各国にあり、過去ロータリー留学生として留学を経験した学生達で構成されています)、またロータリークラブ留学担当の方々が集まりました。まず、このように多くの国々からの学生達が一度に一つの部屋に集まり英語を共通語として交流をし会話ができるという経験は一握りの学生達しか経験することのできない貴重な体験だと思えます。しかし、なによりも素晴らしいことはこの19名の留学生たちは1年を通し会議やイベントなどで毎回集まり、頼れる家族、昔からの友人、慣れた環境の一切ない中でおこる問題、壁を毎回進んで話し合い、なんとか解決しようとして何度も共に考え、助け合い、1年を終えて最後には本当の家族のような存在になったと言うことです。最終行事では多くの学生が涙を流しながら近い将来に19人そろって絶対にまた再会しようとして約束しあいました。この19名の学生がこの一年間を通してともに学んだこと、経験、壁を乗り越えたあとに得た数多くの力を発揮し、それぞれの国にその国の代表、リーダーとして帰国したときに自信を持って彼らは「自国のことは任せてほしい」と必ず言うことと確信しています。留学を通して、自身の言語をさらに改善しようとする取り組み、コミュニティサービス(ボランティア活動)への積極的な献身、学業成績、など今日まで達成した多くのものは18名の仲間との切磋琢磨をする中から得られた場面が多くあると感じます。

11月から12月にかけてはロータリークラブが新たな留学生を選考するための試験を行ない、何度か試験会場作り等の手伝いに参加し、出願した学生達と交流する機会を作ることができました。留学を志す多くの学生との会話を通し気づいたことは学生の日本に対する興味です。多くの学生が留学希望国

(3カ国選択可能)として日本を選択したり、また日本について質問をしてきたのがとくに印象的です。これは今回の留学を通して特に感じたことの一つでもあります。世界中の各国を代表する学生達が日本や日本の文化に興味を持ち、ひきつけられているということを実際に自分の目を通して見て、会話を通して聞くことができました。世界に目を向けたとき、日本人としてもっと自国のことを知ることの大切さを改めて感じ、自国を改めて学ぶことが本当の国際交流の軸になることを実感しました。

1月にはロータリークラブの1年を通して一番大きな行事が行われました。オクラホマ州に、アメリカのいくつかの州に滞在している留学生全員が集まり交流する行事でしたが、180名を越える世界中からの留学生が集まりそれぞれの国について話し合ったりして2日間を過ごしました。本当に素晴らしい経験で、他国について学び、自国について考え見つめ直し、発信する素晴らしい機会でした。世界各国の友人の輪もさらに広がるとともに、日本について多くの学生に知ってもらうとても貴重で有意義な時間でもありました。

2月にはロータリー主催のRYLAというリーダー育成の合宿に参加しました。この合宿は今回の留学生生活1年間を通して一番学ぶことの多かった3日間と言っても過言ではないほど、リーダーになる上で欠かすことのできない要素を学びました。グループ活動、ゲストスピーカーの講義などどれも自分の体を通してリーダーとは何か、どうしたら真のリーダーに慣れるのかを学んだので、今でも全ての情報をはっきりと覚えています。多くの中で自分が特に共有したいことは、「あきらめないことの大切さ」です。リーダーをはじめは周りにばかにされ、笑われるかもしれない。先に進むにつれ、背中に背負う荷物は重くなるけれど、それでもただただひたむきに諦めずに最後まで進めば、必ず周りの人間はついてきて、信頼される。基本的な響きがあるかもしれませんが苦しくて絶対諦めないことが最も大切だということを確認しました。

「最後に」

留学を通し、アメリカ文化と日本文化の違いは多く感じましたが、特にFreedom(フリーダム)とDiversity(多様性)がアメリカ文化の基本であると感じます。学校の政治の授業でもFreedomについて本当に多くのことを学びました。憲法を初め、過去に起こった裁判の結果、選挙などどれをとってもFreedom(個人の自由)を授業でも強調し、詳しく細

かなことまで学びました。日常生活でもFreedomという言葉が国民に与える影響は数多く見られると感じます。また2つ目のDiversityも人種のるつぼと呼ばれるアメリカ合衆国の象徴となる言葉だと感じます。学生達の人種、家庭ごとの生活スタイル等どれをとってもDiversityは存在します。Diversityが国に与える影響は良い意味でも逆の意味でも非常に大きいと感じます。

今回の留学を通し非常に多くのことを学びましたが、留学生活をあらわす言葉の一つは「自問自答」になると思います。今日までどの場面でもどのような状況でも自己解決することを求められました。1日1日が自問自答の繰り返しで、問題を解決したり、壁を乗り越えたりするたび少しずつ成長するのを感じることができました。この留学生活で学んだこと一つ一つを将来必ず生かして行きたいと思います。さらに、ここで作った友人、ホストファミリーは一生のもので、特に同じ境遇で留学生活を送ってきた19人の留学生の絆はとくに強く、団結力があります。その仲間達一人一人がこれから各国に帰国し、ここで学んだこと、他の留学生と共有したことや、体験したことを次の留学生や同じ国の人に広めていくと思います。そうすることで国々の距離もすこしずつ近くなる。その大切さと素晴らしさ、また、自分も国の代表であるという自覚を忘れることなく、帰国後さらに自国について改めて学び、他国との交流を深めていきたいと思っています。

ロータリークラブの交換学生として留学をさせていただいたからこそこのように素晴らしい経験をさせていただくことができ、ロータリークラブの大きさ、世界的なつながりを自分の目で見させていただくことができました。ローテックスの活動をはじめ、将来ロータリークラブに恩返しができるよう、これからも成長して参りたいとおもいます。



誌面の都合上コメントは次回に紹介いたします。

社会長・穴倉会員・飯田会員・鳴海会員 以上

合計 25,000円

累計 215,000円

創立：1991年1月21日

認証：1991年3月6日

例会場：ホテルニューオータニ幕張

点鐘：毎月曜日 18:30

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル303

TEL：043(251)2790 FAX043(251)2726

Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp

URL：http://www.chiba-higashi.jp/

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 市原親一